

～ “美肌のミカタ！” シェービング ニュースレター 夏編 ～

ノースリーブ、オフショルダー、水着、浴衣・・・肌見せ MAX の夏はムダ毛の成長も MAX に！
絶対見られたくない夏のムダ毛 & アンダーヘアのお手入れテクニック大公開！！

監修：赤須医院 院長 皮膚科専門医 赤須玲子先生

夏は肌見せファッション、イベントやバケーションなど、素肌を露出するシーンが増え、他人からの視線も気になる季節です。

実は、夏は1年の中で最も体毛の成長スピードが早い季節でもあるため、お手入れし忘れの“うっかりムダ毛”には細心の注意を払いたいものです。人目につきやすい腕、脚、ワキの下などのボディシェービングを始め、見た目だけでなく衛生面からもお手入れが必要なアンダーヘアのケア方法について、数万人の女性の肌を見続けてきた美肌の第一人者である皮膚科専門医 赤須先生がレクチャーします。



教えてくれたのはこの先生！
赤須 玲子 院長

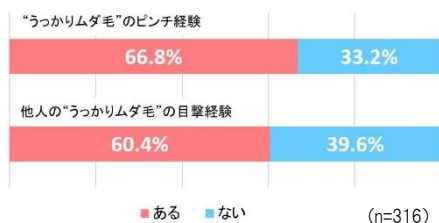
■ 体毛の成長スピードが1年で最も早い“夏”

体毛は大きく分けて、「成長期」→「退行期」→「休止期」の3段階のサイクルで生え変わります。この一連のサイクルを「毛周期」と呼びます。毛周期のサイクルは身体の部位によって異なりますが、実は成長期の成長スピードは季節によって異なり、夏が最も成長スピードの早い季節なのです。

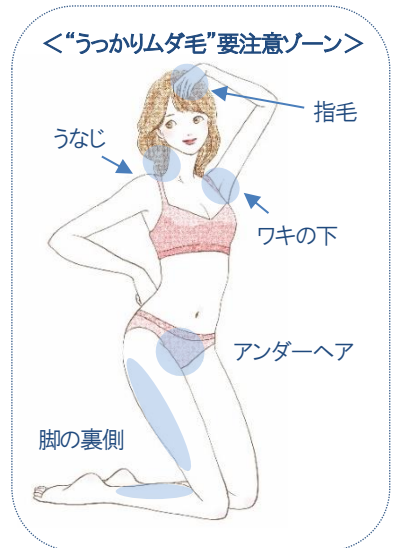
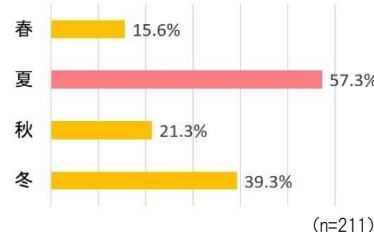
■ もしかして見られているかも、あなたの“うっかりムダ毛”

シック調査*1によると、10代～30代の女性の66.8%が、“うっかりムダ毛”でのピンチを経験し、60.4%が他人の“うっかりムダ毛”を目撃していることが分かりました。(グラフ①)
また、「脇毛をそり忘れてしまい、電車のつり革がつかめなかった」「水着の時に手入れを忘れて、はみ出そうになって焦った」など、“うっかりムダ毛”でピンチを経験した季節は圧倒的に夏が多く、肌の最大露出シーンである夏は“うっかりムダ毛”の最注意シーズンでもあると言えます。(グラフ②)

グラフ① <“うっかりムダ毛”のピンチと目撃経験>



グラフ② <ピンチを経験した季節>



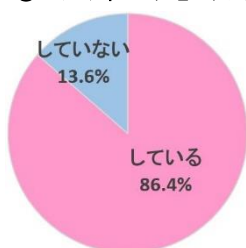
<ボディのムダ毛編>

■ 最新ムダ毛ケア事情

同調査では86.4%の女性がボディのムダ毛ケアをしており(グラフ③)、ムダ毛ケアのツールで最も多いのは10代、20代、30代ともに「替刃式のカミソリ」で、次いで多い「使い捨てのカミソリ」(10代・20代)も含め、セルフでのムダ毛ケアが主流という結果でした(表①)。その一方で、『カミソリでムダ毛ケアをすると、毛が濃くなってしまわないか?』といった質問をよく耳にしますが、これは事実と異なる都市伝説なのです。そった部分の毛は断面が広いので、毛が太くなったように見えるだけで、毛が濃くなるわけではありません。

また、セルフケアツールの「毛抜き」は各年代ともトップ5に入っていますが、実は毛穴へのダメージが大きく、ひどい時には毛のう炎(毛根を包んでいる毛のうの炎症)を引き起こし、シミになってしまうケースもあるので「毛抜き」でのケアは控えましょう。

グラフ③ <ボディのムダ毛のケア>



表① <ボディのムダ毛ケアの道具>

	10代	20代	30代
1位	替刃式のカミソリ 53.9%	替刃式のカミソリ 44.3%	替刃式のカミソリ 49.4%
2位	使い捨てのカミソリ 29.2%	使い捨てのカミソリ 37.1%	サロン、クリニックでの脱毛 29.9%
3位	電気シェーバー 21.3%	サロン、クリニックでの脱毛 35.1%	毛抜き 27.6%
4位	毛抜き 16.9%	電気シェーバー 28.9%	使い捨てのカミソリ 24.1%
5位	除毛クリーム 15.7%	毛抜き 19.6%	電気シェーバー 14.9%

*1 シック調べ 10～30代女性 316名を対象に調査(2019年1月)

■ 美肌のミカタ！ボディシェービングの3つのメリット

① 実は肌にやさしいシェービング

毛抜きや脱色は肌や毛根に作用するため、肌に負担をかけないように気をつける必要があります。一方、シェービングは肌の表面に出ている毛を処理するので、肌への刺激は比較のおだやかです。肌を守りながらそれら高機能カミソリを選び、正しい手順ですれば、手軽でやさしいムダ毛ケアができます。

<シックによるシェービング実験>

替刃式の高機能カミソリを使用し、1週間おきに合計3回のシェービングを行いました。シェービング前後の肌を顕微鏡で撮影したところ、正しいシェービング方法であれば、肌に傷はつかないことが確認できました。



どうして肌にやさしいの？ その答えは“高機能シェーバー”にあり！！

カミソリで不安なのが刃で肌を傷つけないか、ということではありません。刃が肌に食い込むのを防ぐ機能が搭載されたカミソリなら、肌を守りながら、安全にシェービングができます。

シックの高機能カミソリ*2は刃の一枚一枚に「スキングード」を搭載しています。

刃が肌に当たる面積を増やすことで、圧力を分散し、肌への食い込みを防ぐ仕組みです。

*2シック ハイロシルク、シック イントウイション ファブ シリーズ



肌を守る「スキングード」

肌にやさしい
敏感肌用も！



P4 製品紹介①

② 透明感のあるスベスベ肌に

日本人の毛は茶色から黒色をしているため、毛が生えたままでは肌がくすんで見えてしまいます。また、古い角質も肌のくすみの要因になります。ボディシェービングで、ムダ毛だけでなく、余分な角質も取り除けば、透明感が増し、肌はワントーン明るくなります。

③ 日焼け止めやボディクリームののりがアップ

肌にムダ毛があると、毛がじゃまをして日焼け止めやボディクリームののりが悪くなります。急な外出でも、手軽なカミソリでさっとムダ毛を取り除くことで、見た目だけでなく、日焼け止めやボディクリームののりもよくなります。

■ 美肌をつくるシェービング方法

① バスタイムが最適

お手入れをする部位を十分に湿らせると、肌も毛も柔らかくなるので、そりやすくなります。そのため、バス・シャワータイムがシェービングに最適です。ただし、湯船に浸かりすぎて肌がふやけないように注意しましょう。また、シェービング直後に入浴するのは避けた方が良いでしょう。

② シェービング剤を使いましょう

シェービング剤は刃の滑りをよくし、肌への負担を少なくします。透明なジェルタイプのシェービング剤は、その部分が確認しやすく、凸凹があるところや骨ばったところに適しています。

③ カミソリは軽く滑らせるように

カミソリは肌に押し付けず、軽く肌の上を滑らせましょう。古い刃を押し付けてると、肌を傷める可能性があります。そり心地が悪くなったと感じたら刃を交換しましょう。

④ 細かい部分はカミソリを小まめに動かして！

広い部分は、カミソリをすつと長く動かします。細かい部分は一気にそろとせず、小まめに区切ってカミソリを動かすのが、そり残しを防ぐコツです。また、指は狭い部分なので顔用L字型カミソリを使用して、刃をやさしく当ててそります。

⑤ シェービング後は保湿でツルスベ肌に！

お手入れ後はムダ毛やシェービング剤をよく洗い流しましょう。シェービング直後は肌が敏感になることがあります。お手入れ後は刺激の少ないローションや乳液でたっぷり保湿しましょう。

おすすめ！



P4 製品紹介④

仕上がりが
キレイ！



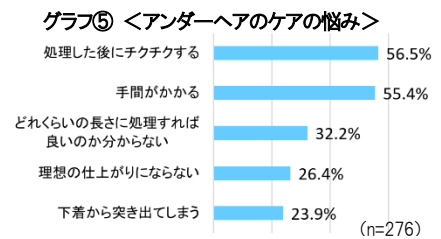
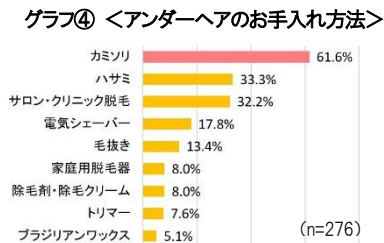
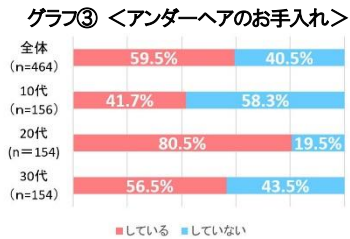
P4 製品紹介③

<アンダーヘア/V・I・O編>

■最新アンダーヘア事情

デリケートゾーンは粘膜に近く、常に高温多湿な状態です。さらにアンダーヘアに覆われているため、夏は特にニオイやムレが気になる箇所となります。排泄物や下着による刺激だけでなく、毛のそのものによる刺激や、微生物の繁殖面からも、常に清潔に保つ必要があります。

シック調査*3では、アンダーヘアのお手入れをしている女性は全体で59.5%だったものの、20代では80.5%と非常に高い結果となっています。(グラフ③)



アンダーヘアのお手入れツールはボディのムダ毛ケア同様、「カミソリ」を使用している女性が圧倒的に多く、61.6%が使用しています(グラフ④)。また、ケアする時の悩みとして、半数以上が「処理後にチクチクする」「手間がかかる」を挙げています(グラフ⑤)。このことから、Vラインは手軽なカミソリを使用し、長さをハサミで揃えている女性が多いのではないかと推測されます。

■アンダーヘアのお手入れ方法

①量と長さを整えるには電動トリマーがおすすめ

アンダーヘアの量を整えるには、電動トリマーの使用がおすすめです。アンダーヘアをハサミでカットすると、切断面が鋭角になり、下着から突き出してしまうたり、処理後にチクチク感を感じる原因になります。トリマーだと切断面がほぼ平面になるのでケア後も快適です。(左下枠の写真参照)

また、カミソリでそる場合も、長いままだと毛が引っ張られて、毛根を傷める可能性があるため、まずはトリマーで長さをカットし(整え方①)、その後好みのラインを決めてシェービングしましょう。(整え方②)

トリマーとシェーバーが1本に!



P4 製品紹介②

<p><ハサミによる断面></p> <p>断面が鋭利だと、チクチクの原因に</p>	<p><トリマーによる断面></p> <p>断面がほぼ平面でチクチクしない</p>
<p><整え方①></p> <p>毛の流れに沿ってやさしく撫で、ボリュームダウン</p>	<p><整え方②></p> <p>ラインを整えて、形を決める</p>

②下着や水着からはみ出す部分を確認

きれいに仕上げるためには、まずそる範囲を決めます。下着や水着を着用した際に、はみ出してしまふ部分を確認しましょう。

③カミソリで余分な毛をそりましょう

ゆっくり小まめにカミソリを動かして、ビキニラインのムダ毛をそりましょう。ビキニラインはデリケートな部分でもあるため、肌負担の少ない敏感肌用のカミソリを選ぶと良いでしょう。シェービング剤を使えば、さらに肌にやさしいシェービングができます。

④シェービング後の保湿で、さらなるツルスベ肌!

ビキニラインの肌はとても敏感です。お手入れ後はムダ毛やシェービング剤をよく洗い流し、刺激の少ないローションや乳液でたっぷり保湿をしましょう。

*3 シック調べ 10~30代女性 464名を対象に調査(2019年1月)

この他の情報も含めたシェーピングに関する詳しい情報を『Schick 美肌のミカタ! シェーピングガイド』としてまとめており、メディアの皆様にご提供させていただいております。製品貸出、画像のご提供も行っておりますので、次頁の報道関係者からのお問い合わせ先までご連絡いただければと思います。

<監修者>



赤須医院 院長 皮膚科専門医 赤須 玲子

確かな臨床経験と美容に精通したきめ細やかな診療が定評。専門はシミ、シワ、ニキビ、ホクロなど。著書に「顔そりスキンケア」「2週間でつるつる美人になる本」マキノ出版がある。

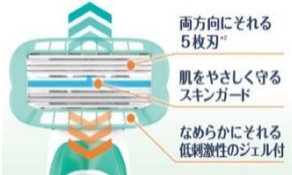
皮膚科専門医、医学博士、アメリカ皮膚病理認定医、赤須医院院長。

<夏のムダ毛ケア&アンダーヘアにおすすめの製品紹介>

①「シック イントゥイション ファブ 敏感肌用^{*1}」



ヘッド部分 イメージ



敏感肌にもやさしい両方向にそれる 5枚刃^{*2} カミソリです。

カミソリを肌に当てたままなめらかに上下にそることができるため、自分の目では見えづらい脇や面積の広い脚や腕も簡単にきれいにそれます。

ヘッド部分には「下方向にそる刃」と「上方向にそる刃」をそれぞれ搭載、刃の一枚一枚には肌をやさしく守るスキングードを採用することで、上にも下にも安全にそれる設計^{*5}を実現しました。

*1 皮膚刺激テスト済み(全ての方に刺激がおきないというわけではありません)

*2 下方向は3枚の刃で、上方向は2枚の刃でそります。

②「シック ハイロシルク トリムスタイル」



お家で簡単にビキニラインケアができると好評の「シック ハイロシルク トリムスタイル」。

ボディ用シェーバーとビキニライン用電動トリマーがついており、これ1本で、初めてでも簡単に自然なビキニラインケアを実現できます。

③「シック プレミア 敏感肌用^{*3} L ディスポ」



女性のうぶ毛処理に適したきめ細かいマイクロガードを搭載した、フェイス用シェーバーです。“マイクロガード”は当社従来品のL型フェイス用シェーバーと比べると、肌を守るガードの間隔が約2倍細かく、そのガードの数だけ、刃が肌に当たる負荷を細かく分散し、肌負担を最小限に^{*4}抑えます。ガードが細かいことで、刃が肌より均一に当たるので、ムラが少なくきれいに仕上がります。

ボディの細かい箇所のシェービングにも適しています。

*3 カミソリの物理的な刺激による。

*4 シックフェイス用L ディスポとの比較

④「シック ハイロシルク シェービングジェル」



Wヒアルロン酸^{*5}配合。保湿剤としてスキンケア&ヘアケア製品によく使用される「ヒアロベール^{*6}」と、ナノサイズで肌の角質に浸透する「加水分解ヒアルロン酸」の2種類のヒアルロン酸^{*5}を配合し、そのときも肌本来の水分を保つことで、しっとりツルツル肌を実現します。また、独自の処方がムダ毛を柔らかくし、肌を守りながらスムーズなシェービングを実現。

*5 うるおい成分

*6 成分名は、ヒアルロン酸ヒドロキシプロピルトリモニウム

<消費者からの製品に関するお問い合わせ先>
シック・ジャパン(株) お客様相談室

TEL:03-5487-6801(代)

シック ホームページ: www.schick-jp.com